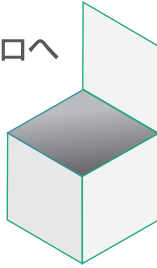


感想の小箱

昭和レトロから平成レトロへ



最近時折、「平成レトロ」って言葉を耳にしますよね。

あの平成のアイテムが再評価されている流れ。

遂に昭和レトロから平成レトロの時代が来たのかと思う大人の人もいるはず。

ところが、平成レトロって言っても、その初期の頃、実は「これ昭和じゃないの？」って言われがちな出来事やアイテムが多いのもある。

代表例でいうと、「ジュリアナ東京」は1991年オープンで、実はバブル崩壊後に誕生した平成のクラブであり、昭和末期のこのポジションは「マハラジャ」。ジュリアナの羽扇子やお立ち台は平成の風景なのに、未だに「バブルの象徴」でなぜか通っている。

他にも、カラオケボックスだって平成初期に一気に普及したもの。ただし岡山は発祥地だったので昭和末期色が強いのは尚更否めない。

今となっては主流である通信カラオケは1992年スタートで、平成に誕生している。平成初期ならではの現象が、レトロブームでも「昭和枠」に入られて蚊帳の外は残念な現象。

この背景には、バブル崩壊が実際に起きた時期と、実際に人々の生活に変化が波及するまでにタイムラグがあったことも関係していると思います。

多分皆が思う昭和と平成の境界線がどこになっているのかとなると、おそらく1995年。

阪神淡路大震災や地下鉄サリン事件など、社会の空気が大きく変える出来事が立て続けに起きた一方で、Windows95が登場したことでインターネットが一気に広がり、今の時代につながる流れが本格的に始まった年でもある。だからこそ平成レトロの基準点は1995年以前以後なんだろうなと思います。

T-LEVEL

profile T-LEVEL

ずーっと岡山県在住。

映画、ラジオ、PC&スマホガジェット、旅行、スポーツ観戦、食などなど、その時自分のアンテナに引っかかったものを感想の小箱として発信！



月の出ぬ間に

「うみ」を掲載いただきました！…
「うさぎのきもち」誌VOL.7

紫水DANNA勇太郎/居待月

うさぎと幸せに暮らすための情報が盛りだくさんな実用書「うさぎのきもち」誌VOL.7に、なんと我が家の愛うさぎ「うみ」が掲載されました！

「うさぎのきもち」誌と言えば、2016年から毎年一回発行の、うさぎ専門書としては貴重かつ毎号とっても厚い内容の本。

掲載いただいたのは特集「みんなの牧草奮闘記 牧草をたくさん食べてもらうには？」のページ。それもなんとカラーで見開き2Pですよ。いやあこんな晴れの舞台は滅多にございませぬ。

内容も激アツですよ。

うちの「うみ」の牧草ジプシ―が始まった経緯から現在に至るまで、そしてその間つけ続けた牧草やうんち、水等々の記録ノートのお話や、現在あげているやたらと種類の多い牧草をす



べてお伝えし、その置き方や置いてある場所のレイアウトまで、そんな暑苦しい情報を、まあ見事に読みやすく、しかもキートな感じでまとめてくださいました。

まあうさぎにとって牧草をいかにちゃんと食べてもらえるようにするのは本当に大切なこと。それなのになかなか食べてくれないうさぎさんもいて、それがまたなかなか悩ましいところですよ。

そんなみなさん、うちの「うみ」あれやこれやなトライが少しでもお役に立てばうれしいです！

「うさぎのきもち」誌は全国書店、アマゾンでご購入いただけますので、是非是非！

うちの「うみ」の様子はYouTube「うさぎのうみちゃんねる」でもご覧いただけます！こちらにも是非ご覧ください！

profile 紫水 DANNA 勇太郎

あらゆるジャンルの表現者・アーティストと出逢えるサイト「Spinart-スピナート」運営。

ミュージシャンとしても音楽作品を各種サブスクメディアでリリース中。

愛うさぎ「うみ」のYouTube動画「うさぎのうみちゃんねる」のおじい。

Web戦略企画制作、Web・SNS関連著書多数、スタッフ育成、Web運用セミナー講師、等。

詳細プロフィールや連載記事はこちらからご覧ください。

<https://www.spinart.jp/contents/writer/utaro-shimizu.html>